

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームガーデンコート西船橋
(ユニット名)	グループホーム2F
所在地 (県・市町村名)	千葉県船橋市西船2-34-20
記入者名 (管理者)	鷲田 征紀
記入日	平成19年 9月 11日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		今後も継続して取り組んでいきます。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		今後も継続して取り組んでいきます。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	今後は地域にもっと根ざした施設運営を行えるよう、地域行事への参加、地域との交流会などにも積極的に参加していきたいと考えております。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		すれ違った近隣住民の方と足を止めて話を交わすことができるようにしていきたいと考えております。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		10月に西船幼稚園の運動会が開催されます。そちらへの見学参加を当面の目標とし、その後地域のボランティア活動などへの参加をしていきたいと考えております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域住民からの電話での介護相談、直接来訪相談をCMを中心に「お伺いし、介護相談承ります」というポスターを事業所に貼り出しております。ご相談など、少々ですが承っております。	○	取り組み内容など、ミーティングで議題にして検討したいと今後考えております。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回初めての外部評価となります。	○	今回の評価を活かしより良い施設運営に努めていきたいと考えております。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議内でご利用者様の総体的な現状の報告、個々のケース報告を行い、抱える問題点を提起し、構成員の皆様のご意見、ご要望をお伺いしております。ご提案いただいた事項については項目2同様に日々のケアに生かすようにしております。	○	2ヶ月に1回程度の開催を軌道に乗せ、定期的にご意見を賜れる場としたいと考えております。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	当施設担当者から市、地域包括センター、地区在宅介護支援センターへの働きかけは積極的に行っております。また、昨今のコンプライアンス関係について担当部署と綿密に相談をしてから法令順守に努めております。		今後も地域包括支援センター、地区在宅介護支援センター、市保健師とも連携を図り、サービスの向上に努められるようにしていきたいと考えております。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、成年後見制度を利用されている方は2名様いらっしゃいます。利用者様の生きていく上での当然の権利主張を円滑に行うため、その必要性を熟知し、活用することのできる支援を行っています。	○	今後も継続していきます。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止(又は身体拘束)について、当施設ではスタッフが①より知識を身につけ、全員が理解すること。②その就労環境を整理し、ストレスを溜めないようにすること。に気をつけております。①については管理職が身体拘束、虐待の研修へ参加し、スタッフへ啓蒙していく。②については定期的な個人面談と日常の声かけによるスタッフ管理を実践し、且つ	○	今後も積極的な研修への参加や、左記記載事項の徹底を図ります。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・重要事項説明は必ず地区統括責任者、管理者、ケアマネジャーの内2名以上で行なっております。内容の詳細にいたるまでご説明し、ご理解、ご納得頂いております。	今後も継続していきます。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々のケアの中で生じた苦情に関しては、早急に管理者、ケアマネジャーで対応をし、必要な場合はご家族を交え、解決を図っております。	今後も継続していきます。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居時にグループホームの運営はご家族の協力無しにはできないという趣旨の説明を必ず行なっております。また、提携医療機関より毎月の往診結果を診療情報提供書によってご家族にお知らせしております。さらに、必要が生じた場合は、遅滞なくケアマネジャーよりご家族に電話、手紙などの連絡を取るようにし、ご家族にできる限りグループホーム運営に参	○ 今後、施設通信を発行し、定期的にお伝えしていきたいと考えております。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様等からの苦情に関しては、常に相談できる窓口として管理者名の記載された苦情対応案内を掲示しております。常にお電話、直接来訪を問わず、管理者、ケアマネジャーで対応をし、円滑に解決できるよう最大限の協力をしております。	今後も継続していきます。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にスタッフへの面談を行い、様々な意見、提案を頂く機会を設けております。	今後も継続していきます。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日々の勤務調整を行い、生活時間帯に必要な職員配置はしております。利用者様、ご家族からの要望による突発的な事項に関しては、間接要員を含め、管理職を中心に対応を図るようしております。	今後も継続していきます。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動など発生した場合はお客様には誠意を持って事情を説明しております。尚、離職等を必要最小限に抑える努力は日々行なっております。	○ 今後も継続していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修計画(年間)を実施していきます。本年度は事業目標を達成する観点と防災に対する意識付けから、マナー研修、認知症知識、防火対策、身体介護技術、救急救命を予定、実施しています。</p>	○	<p>まず、社内研修をより充実及び実践していき、社外研修も機会を確保できるよう働きかけています。また、日ごろから掲示による研修告知やスタッフミーティングのレジュメなどを貼りだし、啓蒙に努めております。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>情報交換程度でとどまってしまっております。</p>	○	<p>今後、勉強会など、機会を設けて行きたいと考えております。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>11をご参照ください。</p>	○	<p>スタッフ自身にもストレスについて考えてもらう機会を作っていくよう努めていきます。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>個々にあった勤務調整の実施を心掛けています。(体力面、生活環境など考慮して)得意・不得意、個々の把握をおこない「やる気」を持てる業務を中心にシフトしていきます。</p>		<p>左記に準ずる。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>出来る限り本人からヒアリングしております。認知症の方ですので、ご家族からのヒアリングも交え聞くようにしています。失語のある方も文字盤を使うなどして対応しております。</p>		<p>今後も継続していきます。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初回のお問い合わせの際に、ご家族様の主訴は何かを捕らえ、そこから派生する様々な事案をお聞きするようにし、受け止めるようにしております。</p>		<p>今後も継続していきます。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネジャーを中心に、担当者会議を行い、利用者様、ご家族が必要なサービスを受けられるベストの選択を掴める様にご案内するようしております。		今後も継続していきます。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	直ぐのご入居のご要望が多いため、サービスを開始し、場の雰囲気馴染めるよう最大限の努力はしております。今後左記の様なご要望があった場合は、体験入居の設定もごさいますので、そちらの利用をお勧めいたしたいと思ひます。		ご要望がございましたら、その様に対応いたします。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフとご利用者様とが一緒に洗濯をしたり、調理をしたり、食器洗いをしたりと普通の生活を営んでおります。介護されるということではなく、お互いに感謝の気持ちを持ち続けることのできる関係を築くよう努力しております。	○	今後も継続していきます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	定期的な行事のご参加を依頼し、ご利用者様や、他のご家族との触れ合いの場を設ける事によって、皆で一緒に支えていくという実感を持っていただけるよう努力しております。		今後も継続していきます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居前に、ご家族の協力をいただけるよう説明し、ご理解いただくことを前提に、アセスメントシートを含め、ケアマネジャーからの情報をスタッフに開示し、利用者様とご家族が抱えている問題点を共有できるようにしています。それを把握し、より良い関係を築くことができるようなケアを展開しております。		今後も継続していきます。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの物をご入居後も使っていただくようご家族様をお願いしております。また、手軽に親類・知人などが来訪できる雰囲気を作ることによって外部との交流を図りやすくする用に努めております。		今後も継続していきます。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	散歩に皆で出かけたり、レクリエーションをしたりし、利用者様同士のコミュニケーションを図るようしております。特に散歩時には、安全を確保した上で、利用者様同士で車椅子を押していただくなどし、お互いに感謝の言葉を交わす機会を設けることができるようしております。		今後も継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりを必要とするご利用者様やご家族には、ケアマネージャーより、定期的に電話にて連絡させて頂き、近況などをお伺いしております。		今後も継続していきます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人・ご家族の希望、意向を把握し、それを第一にケアプランを作成し、マネジメントしております。		今後も継続していきます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネージャーがモニタリング後、モニタリングシートを作成し、スタッフに情報提供することで情報共有をしています。また、アセスメントシートなどをスタッフが閲覧しやすい場所に配置し、情報の積極的な収集を促しております。		今後も継続していきます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の申し送りや、管理者の定期的な現場への訪問で、左記項目の把握をするようにしております。		今後も継続していきます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族、ご利用者様、提携医療、ケアマネージャー、管理者、スタッフなどの意見を取り入れ、介護計画に反映して実際のケア展開を行なっております。	○	今後も継続していきます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	左記、ケアマネージャー、計画作成担当者にて作成しております。	○	スタッフ側からも、常に管理者、ケアマネージャーに状況を報告し、現状に即した介護計画作成に反映したいと考えております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、個人日誌、業務日誌の記録をし、内容を管理者がチェックしております。朝夕の申し送り時に、管理職、ケアマネジャーが立会い、スタッフとの情報共有を行っており、介護計画の見直しが必要な情報は見落とさないようにしております。		今後も継続していきます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日頃からご要望を連絡していただけるようお願いしており、出来る限りの要望に対応するようにしております。		今後も継続していきます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	包括支援センターから、ご利用に対するご紹介などは頂いておりますが、援助のサポートまでは頂いておりません。	○	今後、地域のボランティアなどを積極的に受け入れていきたいと考えております。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人の意向や必要性に応じて、包括支援センター、市役所、他ケアマネジャー等への連絡を取り、他サービスの紹介、相談を随時行っております。		今後も継続していきます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加して頂き、連携を図っております。		今後も継続していきます。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ケアマネジャーが提携医療機関と連携を図っております。ご本人がご希望される病院にかかっております。		今後も継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ご利用者様の内で認知症の専門医の診療が必要な方、ご家族がご要望された方に関しては、ケアマネジャーより医療機関に連絡をすることによって、適切な支援を行なっています。	○	今後も継続していきます。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	提携医療機関の看護職と日常の健康管理や医療活用の支援をしています。		今後も継続していきます。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ご利用者様の主治医、各病院のソーシャルワーカー(市内及び近隣の病院)との関係を密接にとっています。ご利用者様が入院の際には、入院先の病棟看護師に直接情報提供を行い、安心して過せるような支援を行なっております。		今後も継続していきます。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	左記の通り実施しています。	○	今後も継続していきます。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	左記の通り実施しています。	○	今後も継続していきます。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	まだ例がありません。	○	職員関係者等(ご家族も含め)連携を図り、ダメージに向けた対応を支援します。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「相手の尊厳を守る」声かけ、対応を心掛けるよう、日々スタッフと意志の共有をしております。記録等は保管場所を定め、管理者の目の届く箇所に保管しております。	○ 今後も実践していきます。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意思決定に問題のない方はもちろんのこと、何らかの障害がある場合は、理解しうる方法(文字盤の利用など)を活用し、自己決定の機会を設けることのできる支援を行なっています。	○ 今後も実践していきます。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様が入所される前に暮らしていた普通の暮らしをホーム内でも実現できるよう、「見守り」を重視し、「待つ」ことのできるケアを方針として打ち出しております。	○ 今後も実践していきます。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容店など本人のご希望のお店がある場合は、そのお店に行く事のできるよう支援しております。また、特定のご希望のお店がない場合は、訪問理容を定期的に予約し、ご利用頂いております。また、ご自分で整容をされるかたはご自身の意志にお任せし、行為自体に障害が伴う方は、介助にて行なっております。	○ 今後も実践していきます。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に昼食を楽しんでおります。また、行事で植えた野菜を収穫し、食事に盛り込んだり、スタッフとご利用者様一緒に調理や食器洗いを行なったりしています。	○ 今後も継続して取り組んでいき、一人でも多く参加できるよう支援していきたいと考えております。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	たばこ、お酒に関しては、ドクターストップのかかっている方以外で嗜好されている方はおりません。その他、好きな食べ物や飲み物など、ご本人のご希望に合わせてお持ち頂き、楽しんでいただけるよう支援しております。	○ 今後も継続して、お客様に楽しんで頂きたいと考えます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	便意の意思表示ができる方に関しては、意思表示を必ずしていただくようケアをし、できない方に関しては、定期的な誘導を行なうことにより支援を行なっています。	○	今後も継続し排泄パターンの把握を行ない、お客様に気持ちの良い排泄をケアしていきます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴のチェックシートに実施結果を記入し、入浴予定者をスタッフで考えるようにはしております。しかし、ご本人様の意思にそぐわない、体調が悪いなどの理由がある場合はそれに沿ったケアを行なうようにしております。	○	今後も実践していきます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の休息や入眠パターンを把握し、快適な休息、睡眠をとっていただけるよう努めております。	○	今後も継続していきます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	絵が趣味だった方にぬりえをお勧めするなど、ご本人様が希望される際にはスタッフと共にレクリエーションの一環として実施しております。また、こちらから集団レクリエーションのお誘いをしたり、ご利用者様の持てる能力を生かすことのできる環境を提供することもしております。	○	今後も生活歴や趣味などもよくモニタリングして、本人様にあった過ごし方を把握し、提供していきます。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を自己管理することが、その人の生活の重要な部分を占めている方に関しては、計画作成担当者がご本人様の状況に鑑み、場合によってはご自身で所持いただいております。その他自己管理が難しい方に関しては、お小遣いとして当施設にてお預かりをし、ご本人様が使いたいときには自由に使っていただけるケアを行なっています。	○	今後も継続していきます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日散歩へのご参加の声をかけをし、お客様のご要望を聞き、外出する機会を増やしております。	○	今後も継続していきます。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	左記の場合はご家族様にて対応をお願いしているのが現状です。	○	実現できそうな場所であれば、ご希望をお伺いして外出する計画を立てていきたいと思っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人のご希望通りに、事務所内電話をご使用いただけます。手紙もご要望があればお出しすることは可能です。	○	今後も継続していきます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問できるよう、事前にお電話を頂いた場合は、ご本人様が当日外出をしていないかどうかを確認し、ご連絡をするようにしております。また、ご来訪の方々へも笑顔での対応を徹底しておりますので、いつでも気軽にご訪問いただける雰囲気となっております。	○	今後も継続していきます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は基本的に行なってはいけない行為だという事を、職員全体に啓蒙しております。	○	今後も継続していきます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	前面の道路が細いわりには交通量が多く、まれに無謀な速度で通り過ぎる車もいるため、ご利用者の安全確保のため玄関の施錠を行なうことがあります。但しご利用者の居室にはスタッフ側から施錠を行うことは一切しておりません。スタッフには施錠することはご利用者の自由を奪う行為であるということを伝えております。	○	今後も継続していきます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	左記の通り実施しています。		今後も継続していきます。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤など注意の必要な物品に関しては、異食のある方には手の届かない場所に保管したり等工夫をし、その他のご利用者様にはスタッフと共にご利用いただけるような取り組みをしております。	○	今後も継続していきます。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	対応方を事務所内に掲示し、スタッフが常に確認することができるようにしてあります。一人一人の状態は事務所内ホワイトボードに最新の情報を常に掲示し、ビジュアル管理を行なうことによって、スタッフ全員に情報提供をしております。	○	今後も継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	スタッフ会議などで情報の共有を図り、マニュアルを作成し、ファイリングしてフロア内に保管してあります。実際に応急手当などの実習はしていないので、年度研修計画に予定しておりますので、その際に実施する予定です。	○	計画に則り実施していきます。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	70同様研修計画に予定しております。地域住民の方々への働きかけは今後の課題とさせていただきます。	○	計画に則り実施していきます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族とはケアマネジャーから連絡をとり、現状起きている事、予測されるリスクなどをご家族に伝え、共に検討する関係を築いております。		今後も継続していきます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	左記、変化・異変に気付いた場合は、緊急を要するものに関しては即時、ケアマネジャーもしくは管理者へ連絡をする用に徹底しております。緊急を要しないものに関しては申し送り時に情報共有をし、対応策を指示しております。	○	今後も継続していきます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理についてはケアマネジャー、管理者にて管理を行なっております。各ご利用者様の処方薬につきましては薬局からの説明書面を事務所内にファイリングをして閲覧できる場所に配置しております。誤薬防止の対応は、記入帳票等を活用し完全なものとなっております。	○	今後も継続していきます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給(1日に1200~1500cc摂取)の目安を表示し、情報を共有し、実施しております。積極的に散歩への参加を促しております。メニュー作成時に考慮して食物繊維の積極的な摂取(野菜、果物、海藻等)ができるようなものを作成しております。	○	今後も継続していきます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	お客様全員にハブラシを持参してもらい、食後は必ず声掛けをして、口腔ケアを行なって頂いております。		今後も継続していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		今後も継続していきます。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	○	社内にも感染症委員会が設置しており、社内全体で予防策を推進しております。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている		今後も継続していきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1) 居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	○	今後も継続していきます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	○	今後も継続していきます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	○	今後、玄関にベンチの設置を検討しております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	左記、実施しております。		今後も実施していきます。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日勤帯、夜勤帯共に巡視をし、室温チェックを行なっています。また換気にも充分配慮し、換気扇の常時運転を行なった、天気の良い日には窓を開放し、自然の風を感じられるようにしております。		今後も継続していきます。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内には手すりを設置しており、完全バリアフリーになっております。ご利用者様の安全を確保しながら、残存機能を有効利用し、自立した生活が送れるようになっております。	○	今後も導線には注意をしていきます。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かし、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	様々な日常の業務をスタッフと共に行なっていただくことにより、ご自身のわかる力を衰えさせず、自立して暮らすことへの恐怖心を拭い去ることができるように努めております。		今後も継続していきます。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターの野菜収穫、ウッドデッキでの日光浴など自由に活動できるスペースを用意し、活用していただいております。	○	今後も継続していきます。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご利用者様が気持ちよく安全に且つ安心して過ごせるよう、スタッフの誠意ある対応を心掛けていきたいと考えております。また、それを日々実践して行くことができるように皆で意識付けしております。ご家族、地域の方々にも気軽に「チャイムを押せる」ホームとしてガーデンコート内に限らず、皆元気良く「挨拶」と「笑顔」だけは絶やさずに日々を送ることができるようスタッフ一丸となって日々励んでおります。